

国立国会図書館 御目出太平楽 2巻 208-476

ガラス使用

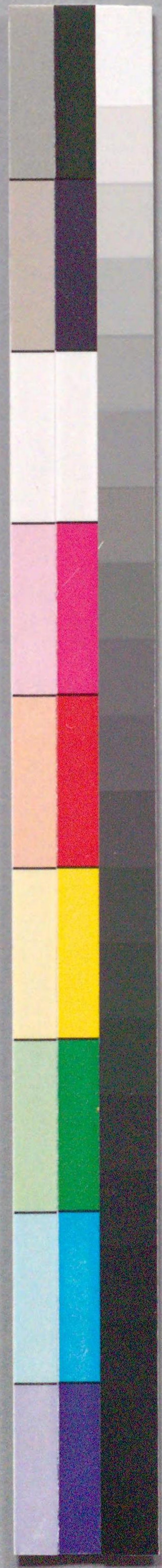
親分
御目出太平楽
後河内守
全二冊

208
476

天明七年

国立国会図書館 御目出太平楽 2巻 208-476

ガラス使用







一 歌仙 櫻葉をハハ文
 一 子 伏見市 出ハ文
 一 古 歌仙のまに 和歌本歌
 のくち 長とんをうり
 をうのをもは 沙よのみ
 以身

一 子 せりよ
 ぬご入つる
 ちのちり

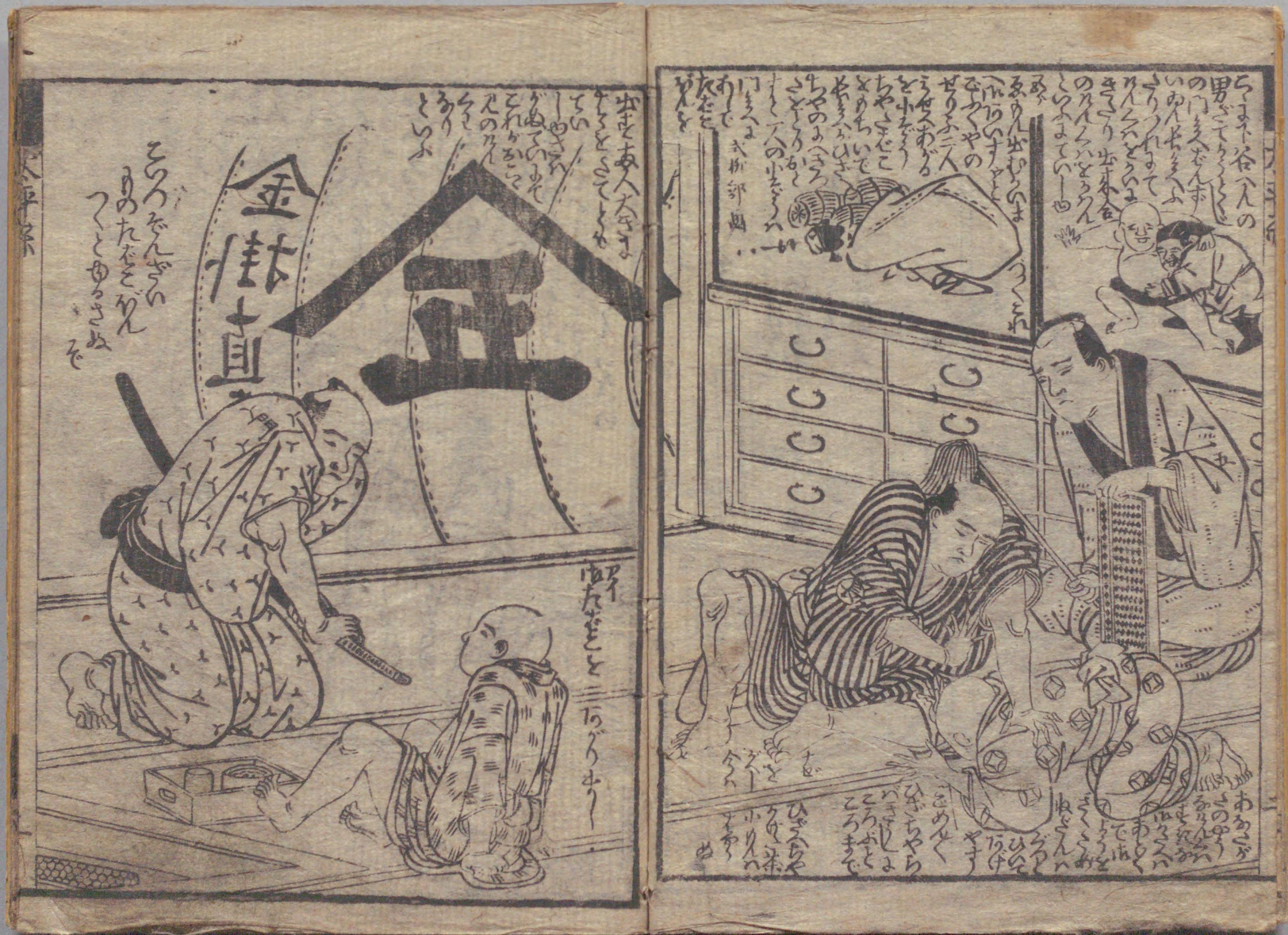
一 内 かくふ
 にねと
 のかすい
 のり

一 歌仙 櫻葉をハハ文
 一 子 伏見市 出ハ文
 一 古 歌仙のまに 和歌本歌
 のくち 長とんをうり
 をうのをもは 沙よのみ
 以身

一 歌仙 櫻葉をハハ文
 一 子 伏見市 出ハ文
 一 古 歌仙のまに 和歌本歌
 のくち 長とんをうり
 をうのをもは 沙よのみ
 以身

太平楽







とびださうーめと
 さんぐあくふと
 つたあがうるとこ
 ろをひるふん
 かしくと
 よびくへせふと
 ちとまりてまけ
 ちとまりてまけ
 まのうちのい
 いまのうちのい
 あいてささり ませ

アハハハハハ
 あんよあま
 ねんあま
 ちんあま

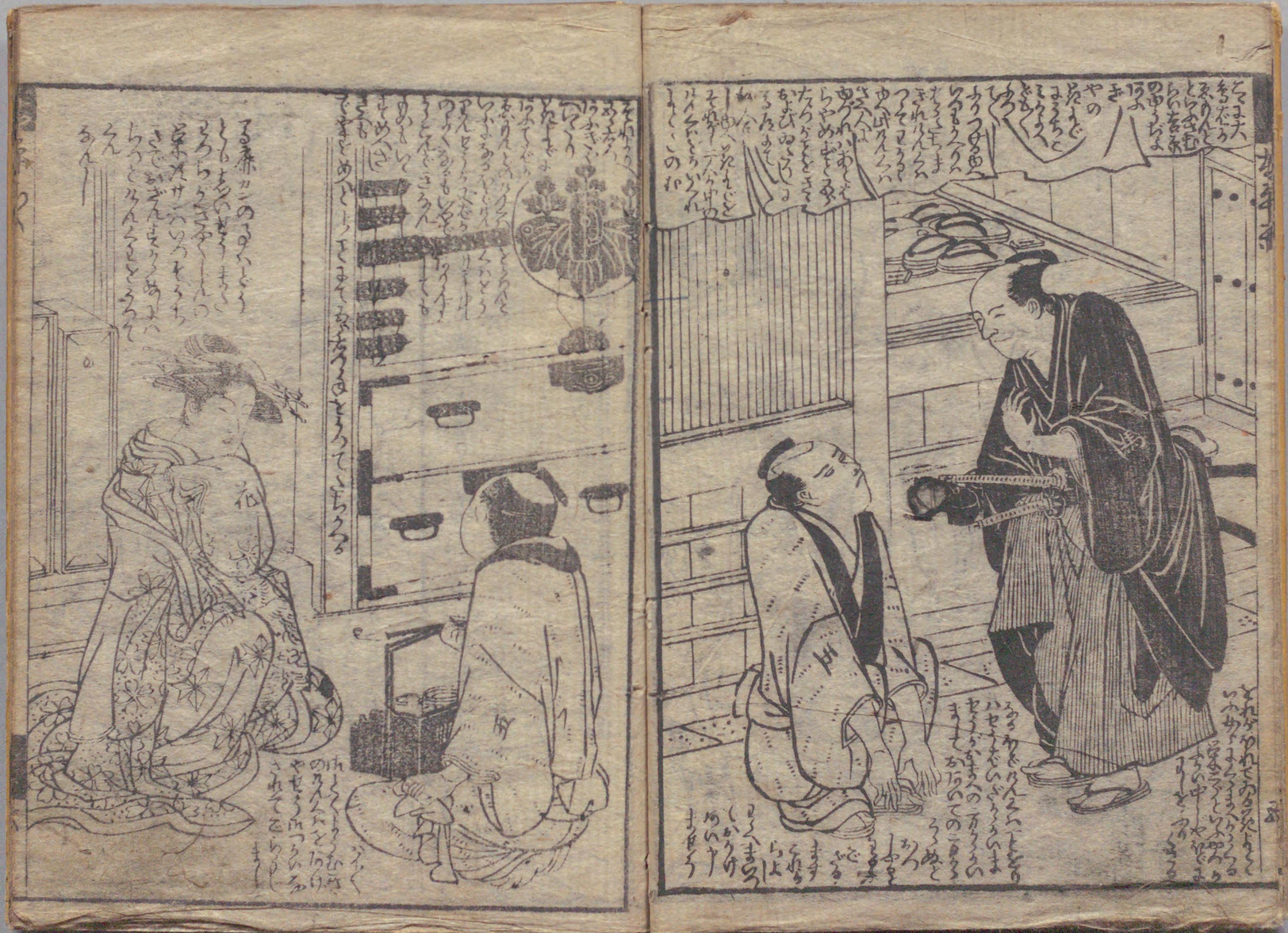
らんあま
 せんあま
 ちんあま

らけとんやその
 つまこれゆ利をよ
 ちもたうた作たら
 小ねのといふか
 ことてあがち
 こところんさ
 かいさうい
 あんらと
 うつてくつち
 れまうしんあ
 さいがひでら
 かんらと
 うまよま
 あがいの
 やらうはうて
 けんらあのと
 こまよの
 ざんれん小ねあ
 がりそのら
 しあまのいよ
 ねんあま

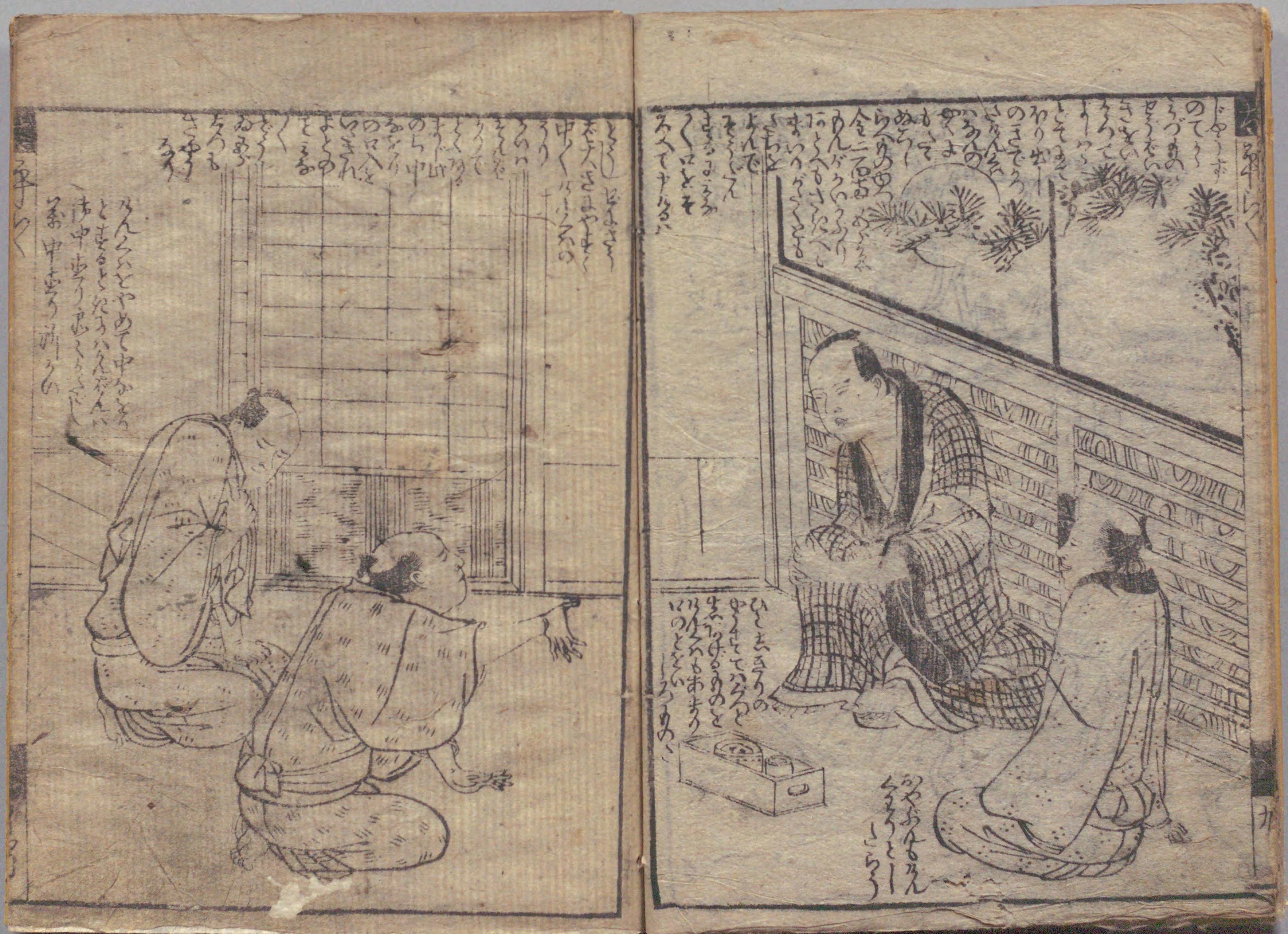
あまの
 ちんあま
 せんあま
 らんあま











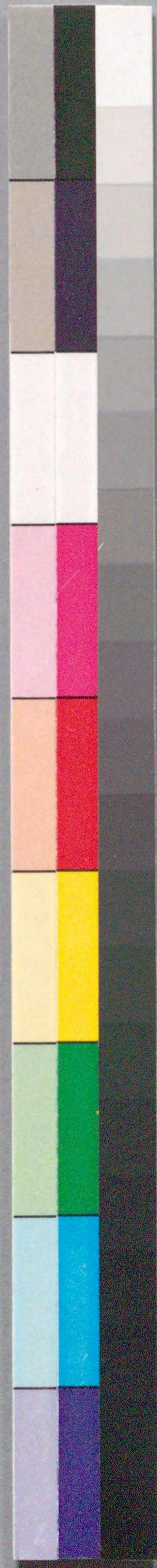
208
476

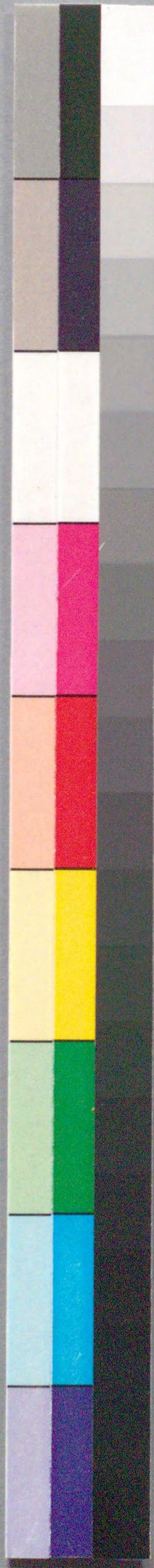


208
御
476

国立国会図書館 御目出太平楽 2巻 208-476

ガラス使用





国立国会図書館 御目出太平楽 2巻 208-476

ガラス使用